

甲斐市議会建設経済常任委員会会議録

1. 開催日時 平成27年10月7日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室B

出席委員（6名）

委員長	赤澤厚君	副委員長	池神哲子君
	清水正二君		米山昇君
	山本英俊君		藤原正夫君

欠席委員（なし）

傍聴議員（なし）

職務のために出席した者の職氏名

書記 有野恵里

審査内容

- 1 平成28年度当初予算への要望について
- 2 委員派遣について

開会 午前 9時59分

○書記（有野恵里君） 改めましておはようございます。

これより建設経済委員会を開会いたします。

初めに、次第の2番として委員長よりご挨拶をいただき、引き続き、委員長の進行で議事を進めてまいります。

それでは、赤澤委員長、よろしくお願いいたします。

○委員長（赤澤 厚君） おはようございます。

早朝よりご苦労さまでございます。このところ、きのうから大変山梨県は全国的に有名になりまして、ノーベル賞ということで大変、教授がとったということで、我々も山梨県人として本当に誇りに思うところがございます。先ほど話したんですが、あと何年かしたら甲斐市からもそんな時分が出ればいいなという期待を願かけておるところでございます。きょうは、この間の終わりました皆さんから意見を出していただいた決算の内容について検討して、28年度の事業に反映するというところでございますので、慎重審議をしていただきますようよろしくお願いいたします。

それから、先ほど書記のほうから話したんですが、終わった後、棚田のほうをちょっと現地の視察に行きますので、あわせてよろしくお願いいたしますと思います。ご苦労さまです。

ただいまの出席委員は6名です。定足数に達しておりますので、これより建設経済常任委員会を開会いたします。

なお、藤原委員におきましては遅刻の旨連絡がありましたので、報告いたします。

○委員長（赤澤 厚君） それでは、本日の会議を開きます。

本日の委員会は、平成28年度の当初予算の要望について本委員会で取りまとめ、決算審査特別委員会に提出するため協議を行います。

また、常任委員会終了後、意見交換会を予定しております棚田の事前審査をすることになっておりますので、委員の派遣についてまたよろしくお願いいたします。

それでは、これより内容に入ります。

平成28年度当初予算への要望については、さきの決算審査特別委員会において各常任委員会で取りまとめ、提出することになっております。

各委員より要望書を提出していただいておりますので、要望書の趣旨を順次説明をしていただき、内容を協議した上、全会一致で事業について決算審査特別委員会に提出したいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（赤澤 厚君） 異議ありませんので、それではそのようにさせていただきます。

それでは要望書が出ておりますので、順番ということで、初めに米山委員のほうから説明をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

米山委員、お願いします。

○委員（米山 昇君） それでは、1人1件以内ということですので、今回は土木費の都市計画費の下水道費ですが、実際には下水道特別会計に繰り出している特会のほうの事業になりますけれども、下水道の整備事業内容は下水道の建設事業であります。

内容ですが、ここに書いてあるとおりで、下水道の整備は全体計画の面積が1,776ヘクタールで進められていますが、26年度末の整備面積、整備率、面積はちょっとこっちは含まれていますが、67%という状況になっています。

平成26年度中の整備面積はわずか14ヘクタール。これは土地のあれが違いますが、下水道の状況、ちょっとこれも26年度の31.52ですか、多分繰り越しがもう入っているということだと思いますが、14ヘクタールというのは主要事業の成果の中に、26年度の整備面積14ヘクタールと書いてありましたから、一応ここへその数字を載せておきました。

いずれにしても、甲斐市が発足時には年間70ヘクタールぐらいはやりましたし、多いときは90ヘクタールくらい整備しておりましたが、年々事業量が減少しているということで、快適な住環境のためには、下水道は欠くことのできないものである。下水道整備のための予算を確保して、整備面積の拡大を図るよう要望するというので、一番最後の2行か4行かで予算をつけて下水道の整備をもっと進めろと、進めてほしいとそういうことでございます。その点を来年度予算の中へ少しでも面積をふやしてもらえるように要望していきたいということです。

○委員長（赤澤 厚君） ありがとうございました。

今、米山委員のほうから要望の趣旨について説明をいただきました。これについて何か質問等があったらお受けしたいと思いますけれども。

○委員（米山 昇君） 3枚目の裏に事務局のほうで公共下水道の状況ということでつけていただきました。16年の9月からは合併して甲斐市と、これは随分足したものだと思うんですね、その前は。実際には17年度からということになるんでしょうかね。

○委員（池神哲子君） 山梨県の中で甲斐市の下水道率の整備はおくれているほうですかね、それとも進んでいるほう。

○委員（米山 昇君） 流域下水道ですからね。例えば桂川流域下水道とか、この流域で流れるところでやっていますから、あつちはもっとずっとおくれています。それで甲府市みたいにはほぼ90何%というところもありますし、都市ほど進んでいます。大都市は全部100%ですから。田舎ほどおくれているという言い方はおかしいけれども、下水道というのはそういう状況です。

〔「99.5」と呼ぶ者あり〕

○委員（米山 昇君） ええ、もうほとんど、トンネルのようなところだけ残してあとはみんな整備されています。本当は、最初の計画はもうずっと前に終わっているはずなんですけれども、計画を延ばして、もう2回くらい延ばしてやっていますけれども。当然みんなそうやって、甲府市の場合もとっくに終わっているんだけど、順々に計画を延ばしちゃって、やっているの、もうどうしようもないですね。本当は離れたところは、別の方式で浄化槽というか、例えば甲斐市でもやっていますけれども。

〔「合併浄化槽だね」と呼ぶ者あり〕

○委員（米山 昇君） 合併浄化槽だとか、農集排を使って。公共下水道というのは都市計画の中だから、都市計画区域内しかできないんですよ。調整区域のところの都市計画外のところをやっているのは、また本当は別の手法でやらなければいけない。それにしてもちょっとこのところずっと少ないんです。整備面積ヘクターというところが右から2番目にありますけれども、去年は31.52とありますけれども、実際は14ぐらいしかできなくて、後はちょっと完成がおくれたということで、ことし繰越明許してやったから、多分これ含めてあると思うんです。その前は16しかやっていないし。

だから、合併時のころは結構やっていたんですよ、合併の前なんか70近くやったり。これでいくと80というときもあるしね。だから、3町合わせれば結構大変だったんです、当時はね。

○委員長（赤澤 厚君） 一応、当然我々としても、これはできるだけ早く整備をしていただいて、住環境のためにもそれは必要だと思いますので、これできたら建設経済常任委員会と

して要望書を出すということで、皆さん方の意見を集約できたらお願いいたします。

米山委員から出ておりますこの下水道整備事業について、建設常任委員会の総意として要望書を出すということでご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（赤澤 厚君） 皆さんの意見を集約した中で、都市計画課の下水道整備事業については、要望するという決したいと思っておりますので、よろしくお願いをしたいと思っております。

次に、今回、2つの要望しか出ていないということで、あとは私の要望書が1つ出しております。これは款項目という形ではなくして、基本的に商工観光の関係になると思うんですよ。この米山委員の参考資料のその後についているんですけども、イベントのカレンダーという中にあるんですけども、合併してちょうど去年で10年ということで、甲斐市もいろんな福祉祭りをある程度、廃止したり中止して、地域のほうの事業に予算づけをしているところですよ。

去年も若干、わくわくフェスタもあの場所がちょっと問題があってどうするのかという話も出ていたんですけども、そういったものを絡めた中で甲斐市の行っているイベントの事業の見直しをして、ある程度、費用対効果のない事業はここは見直していくことも必要じゃないかということなんです。基本的に、具体的に誰がどの事業がどうこうという、また個々の事業に対しては上げていないんですけども、全体的なイベントの見直しを合併でもう11年になって財源的にも非常に市も厳しい状況になるので、その辺を今後十分検討して内容等見直しをしていくことが必要じゃないかということで、要望という形で出しております。

一応簡単ですけども、そのような形で要望ということで出したんですけども、もし皆さんの意見があったらお受けしたいと思っておりますけれども。

○委員（池神哲子君） どこへ出したの。

○委員長（赤澤 厚君） 市のほうへこの要望を。

○委員（池神哲子君） 甲斐市へ。

○委員長（赤澤 厚君） 執行に対して。これは要望書全体を市長に対して、各常任委員会でまとめたものを決算特別委員会から市長のほうに出すということになっているので。

〔「来年度予算への変更ということ」と呼ぶ者あり〕

○委員（池神哲子君） 要望ね。そうすると、その下水道の整備とか。

○委員長（赤澤 厚君） それはもう終わったから、ちょっと待って。今度これを皆さんに検討していただいて、うちの建設経済常任委員会として上げるかどうかということを検討して

もらいたいということです。

[「毎年幾らか出ているわけだけでも、内容まではいいいんだけれども、大体の金額というのはわかるの」と呼ぶ者あり]

○委員長（赤澤 厚君） 全部細かくはわからんな。

○書記（有野恵里君） もうばらばらですね。スポーツでやっている事業だったり、商工観光の事業があったり、予算とかが載っている1つでいいような資料がちょっとなかったんです。監査のほうでもちょっと聞いてみたんですけども、そのような金銭的にわかるような、まとまったような資料がなかったので、多分その資料というのは。

○委員長（赤澤 厚君） 正直言って、このイベント事業というのも、本当に大ざっぱになっちゃっているんで、個々に今言っている、細かくこれを見直す等ではないんですね、基本的に。ただ、そうはいつでも財源が厳しい折にある程度、必要なものは当然継続して行うこともいい、当然それは事業としていいんですけども。

ただ、事業としては最初の二、三年はよかったと、それ以降はどうかというような事業もあるので、そういったところは要するに費用対効果を十分検証した中で、今後こういった事業の見直し、内容等、予算等も含めた中で、基本的に廃止という強いことがあるんですけども、これはちょっと変えなきやまずいかなと思っているんですけども、そんなこともちょっと検討、特に28年度の事業において、各事業の見直しも必要じゃないかということで載せたんですけども。

○委員（米山 昇君） 一番最後のページについてはどうなの。年間のイベントでももちろん金もかからないものもあるわね。つららの見ごろなんていうのがあるからね。この中でも金がかかるものであって、教育委員会もやったり、商工観光がやっているということですよ。

○委員長（赤澤 厚君） そうそう。だから梅の里カントリーというのは、これは教育委員会がやっている分ですね。このイルミネーションはうちの関係だし。それで菜の花見ごろ、双葉農の駅周辺・大埜、農の駅の、これはうちだと思んですけどもね、おみゆきさんもうちだと思し、梅もぎも。あと、このさくらんぼ狩りとかこの桑の実とか、これは商工会の事業だと思んだよね。だから一番は大きな事業は、そのわくわくフェスタとか……

[「一番でかいの」と呼ぶ者あり]

○委員長（赤澤 厚君） そうですね、その辺のところが今後どのようにいくのかも踏まえた中で、よく検討してもらったらどうかということなんです。

○委員（米山 昇君） これももちろん上へ上げ、決算常任委員会で最終決定という形になる

わけですけれども、これはこの文章として出す、もっと簡単な、どういうふうにして出すのかな。例えば俺が書いたのもこんなに長くなって……。

○委員長（赤澤 厚君） だから、基本的にいいです、米山委員。ちょっとある程度、先ほど米山委員の言ったように、最後の恐らく3行か4行くらいが趣旨だと思うんですね、それ、向こうへ出すのがね。その辺のところを集約した中で、ある程度出していききたいなと思っているんですけれども。

○委員（米山 昇君） であれば、赤澤委員長のやつも、最後の廃止するといってもちょっと強いような気がします。

○委員長（赤澤 厚君） それはちょっと検討します。

○委員（米山 昇君） 例えば、費用対効果のない事業については廃止も検討していくこととかという言い方のほうが、廃止という言葉も入れるかどうかというところもありますけれども。

○委員長（赤澤 厚君） もうちょっと今、米山委員の言われたやらも出してから、今ちょっと話が強過ぎたかなと思ったんですけれども、ある程度その内容等も十分検討して、予算等もよくその辺は精査した中で、見直していくことも必要だということでまた出して、ちょっとこれは変えようと思っているんですけれどもね。余りにちょっと強過ぎるなど。

○委員（清水正二君） 実現性のある要望ということになるね。そういう見直しと、廃止というね。

○委員長（赤澤 厚君） 何かやめろと言うと、強くなり過ぎるので。

○委員（山本英俊君） この見直しと入っているところを見直しすれば、それで通るんでね。

○委員（清水正二君） 上がそうですからね、表題が。

○委員長（赤澤 厚君） もしよければ、そのような形の中で、今後は特に費用対効果のない事業に対しては、十分検討して見直すよう行ってもらいたいという文言をちょっと変えて、一応、もしよろしければこれも出すということでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（赤澤 厚君） ありがとうございます。

それでは、2つの要望書については、皆さん方から十分検討していただき、この2つの要望書を出すということで、建設常任委員会としては決定したいと思います。これは15日にまた決算特別委員会の総括委員会があるので、そこへうちの委員会としての2つの要望書を出しておきます。また、米山委員のこれはちょっと書記のほうである程度まとめて、一回フ

ファクスを送ります。それで、その辺をまた検討していただいて、この文章等を検討したいと思いますので。

○委員（米山 昇君） この中の年間70ヘクタールほどであったというところの、この補足資料を見ると、例えば17年度が49.9。

○委員長（赤澤 厚君） そう、49.9ですね。

○委員（米山 昇君） 48、56、40なら50ぐらい。50ヘクタールほど整備されていたというふうに直して、14というのもこっちが31.52というのであれば、繰越分まで含めちゃって。それでも32でもいいし、わずかなところは切ってもらって。それにしても減っていくことは確かだから。

○委員長（赤澤 厚君） 事実ですからね。ではその辺、ちょっとこちらに任せてもらって、また具体的にまとめましたら、一回米山委員のところにファクスで送って、再確認してください。

それでは、きょうの付託された要望の件については、終了したいと思います。

次に、2番の議員派遣についてということでお諮りします。

本日举行視察日程は、お手元に配付しております。

それでは、お手元に配付しました委員派遣についてお諮りをいたします。

お手元に配付した派遣計画により、委員を派遣することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（赤澤 厚君） 異議なしと認めます。

よって、計画書のとおり派遣することに決定しました。

なお、派遣承認申請は委員長において作成し、議長に提出したいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（赤澤 厚君） 異議なしと認めます。

それでは、次に第4のその他に入ります。

委員よりその他何かありましたらお願いいたします。

ありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○委員長（赤澤 厚君） 事務局から何かありましたらお願いします。

有野書記。

○書記（有野恵里君） すみません、日程の連絡をさせていただきたいと思います。

10月15日なんですけれども、午前11時から敷島地区の対話集会のリハーサルを行いたいと思いますのでよろしくお願ひします。その後、10月15日のリハーサルの後なんですけれども、本日この3常任委員会で取りまとめた要望書につきまして、午後1時半から委員会室Aにおきまして決算審査特別委員会を開催しまして、再度協議を行いたいと思います。決算審査特別委員会の終了後、甲斐市総合計画及び総合戦略を議題にしまして、全員協議会を予定しておりますので、よろしくお願ひいたします。続くんですけれども、その全員協議会が終わりましたら、また11月の臨時議会及び12月定例議会の日程につきまして、議会運営委員会を開催しますので、よろしくお願ひしたいと思います。

それから11月2日なんですけれども、午前10時より敷島棚田保存会との意見交換会を開催しまして、その後、午後1時半から常任委員会を予定しますので、またご参集のほうをよろしくお願ひいたします。場所は、両方とも委員会室Aとなりますのでよろしくお願ひします。日程がちょっとたくさんになっておりますけれども、よろしくお願ひします。

〔「もう1回言ってくれる、確認の意味で」と呼ぶ者あり〕

○書記（有野恵里君） まず10月15日、11時から敷島地区の対話集会のリハーサルですね。

○委員長（赤澤 厚君） それは、敷島・双葉です。

○書記（有野恵里君） 敷島と双葉の方が中心になるかと思います。

その後、11月15日になるんですけれども、1時半から決算審査特別委員会を予定しております。それでまた、決算審査終了後に全協を予定しておりますので、今度は全協の終了後に議運ですね。

○委員（池神哲子君） 15日に全部締めちゃうのね、ここ。

○書記（有野恵里君） そうなんです、15日に午前から入ってしまうんです。

○委員長（赤澤 厚君） 竜王の人たちは午後から。

○委員（池神哲子君） 私たち敷島は行かなくていいの。

○委員長（赤澤 厚君） 来てもいいですけども、リハーサルだから。来て見ても構いませんけれども、いいと思います。

○書記（有野恵里君） 15日は11時から、次が1時半から。それが終了後に全協と議運があるという形になります。お願ひします。

あと次、11月2日は午前10時から棚田保存会との意見交換会ですね。終了しまして午後からになりますけれども、11月2日……

○委員（米山 昇君） 2日は真ん中ということだね。連休じゃない、休みというか。

○書記（有野恵里君） ちょうど間のところで申しわけありません。

○委員（米山 昇君） それが夜、昼間。

○書記（有野恵里君） 昼間の10時から棚田保存会との意見交換会ですね。

○委員長（赤澤 厚君） 午前10時からです。

○書記（有野恵里君） その後、午後1時半から建設経済の常任委員会を予定していますので、一日になりますけれども、ご参集をお願いいたします。場所は両方とも委員会室Aで予定しておりますのでよろしくをお願いいたします。

○委員（池神哲子君） いいですか。

その敷島との棚田交換会は、私たち何も知らないんですけども、どうすればいいの。

〔藤原正夫委員 入室〕

○委員長（赤澤 厚君） 基本的にきょう、今から現地調査へ、一応これ資料入っているけれども、現場を見に行かないと意見交換会してもわからないので。

池神さん、そこに。

○委員（池神哲子君） これを見てきて……

○委員長（赤澤 厚君） そこへ行きます。

○書記（有野恵里君） 提出の要望書につきましては、この2点しか出ていないので、2点で決定させていただきました。

○委員長（赤澤 厚君） 基本的に、農林振興課の課長が現地へ行って案内をしてくれるということで、基本的に現場というか、現地を見ていないと意見交換会にしてもどんなふうなのか検討がつかないので、とりあえずきょうは行って、そんなに広いところじゃないんですけども、要するにその田んぼをちょっと、こんなふうな場所ですよということで、一応その場所を見に行くということで。

あと、文化財保存会の、一応これは27年度、今年度の総会の資料ですけれども、一応こんなような事業も行っているという中に、予算等もいろんなことがありますけれども、そんなことも一応参考にさせていただいて、11月2日の10時から意見交換会を行うということでお願いをしたいと思います。

○書記（有野恵里君） まず、10月15日から予定をさせてもらっていいですか、すみません。

○委員長（赤澤 厚君） 10月15日に敷島地区の対話集会のリハーサルを午前11時から。それで、午後からが決算特別委員会が1時半から。それで、終わり次第、全員協議会。そして

終わったら議会運営委員会。この日は午後から3つ。だから、恐らく10月15日は敷島の方は午前中からだから、大体一日になってしまうけれども、敷島・双葉、ということがありますけれども。

それと、あとは11月2日です。午前10時から柵田保存会との意見交換会。その日の午後1時半から建設経済常任委員会ということで、この日も一日になりますけれども、10月15日、11月2日ということでよろしくお願ひしたいと思います。

よろしいでしょうか。

○委員（池神哲子君） すみません、ちょっと質問したいんですけども、いいですか。ゆうのう敷島との連携による柵田市民農園事業への取り組みを検討するというので、今回このボランティア精神のもと貴重な資源を守り、美しい姿で引き継いでいくことを目的としてということですよ。柵田景観をということで、きょうも見学に行ったり、お話し合いをするということですよ。

○委員長（赤澤 厚君） それは、だから11月2日ね、話し合いは。きょうは事前にちょっとその現場を見ていないと、全然わからないところだと意見交換会をするにも見当がつかないじゃないですか、ある程度の。だからきょうそこへ行って、現地をこういうところでこういうものをやっていますということ、農林振興課の課長のほうから説明をしてくれるそうですから、終わり次第、そこへ今から行きます。

○委員（池神哲子君） それはすごくよかったと思っているんですけども、別にそれがこれで黙って放っておくとなくなっちゃうような雰囲気とか、そういう社会的なあれはあるんですか。特になくて、ただ守っていくためにもっと活動していこうという、そういうことですか。

そこら辺のところはきょうそれを見て、それを各自意見交換会のときにいろいろの話をするとのことですよ。

○委員長（赤澤 厚君） 池神委員、さっきもう終わっちゃったんであれですけども、一応その他ということでいいですか。。

○委員（池神哲子君） わかりました。

○委員長（赤澤 厚君） じゃ一応、今言った細かいことを、また農林振興課の課長がいますので、課長のできる範囲で、恐らく質問すれば答えられる範囲で答えると思う、たまたま事務局の中に課長も入っていますので、その辺ももし聞きたいことがあったら、実際には11月2日にいろんな意見交換会がいいんですけども、もし特別何か聞きたいことがあったら

そこで聞いてもらえばいいと思いますけれども、その辺でよろしくお願ひしたいと思います。

○委員（池神哲子君） そんな難しいことじゃないんだけど、社会的な状況としてやっぱりこうやって守っていかないと、だんだん消えていく傾向というのはあるんですかね。

○委員長（赤澤 厚君） 基本的に、正直言ってボランティア的なことで棚田を保存しようという形の中で、当時、敷島町のと時から有志が集まって、耕作者から田んぼを借りて、そこへお田植えして、収穫をして、それでご飯を炊いて、みんなでおにぎり食べたというのは、その棚田の景観を守ろうということで始めた事業です。

だから、基本的にそれはもうほとんどボランティアでやっている、だから見てわかるように、市から補助金はほとんど出ていません。ほとんど自分たちの、ボランティア的な形でやっているの、そういった一生懸命その地域のせつかく景観、棚田というものがあるものを有志が守ってやっているという事業も、我々もある程度そういった意見を聞いたり、我々としても今後参考に、地域の人々のいろんなものを守るためにも意見交換をしたらどうかということで、例年毎年やっているじゃないですか。去年は竜王と敷島とやって、その前は藤原議員、消防があったね。

○委員（藤原正夫君） そうですね。

○委員長（赤澤 厚君） そういった1年に1回、地域のそういう人たちと意見交換会ということで今回計画しました。よろしくお願ひいたします。

以上をもちまして、本日の日程は全て終了しました。

これをもちまして、建設経済常任委員会を閉会といたします。

ご苦労さまでした。

閉会 午前10時29分